



ROCK PAINT

合成樹脂エマルジョン系可とう形改修塗材E

ビニロック エラスティックファイラーⅢ

非セメント系
 下地調整(フィラー)とシーラー効果
 パターン付けも可能!!
 目止め効果
 ヘアークラックに追従
 改修塗装に好適!!

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

JIS A 6909

建築用仕上塗材
可とう形改修塗材E主材

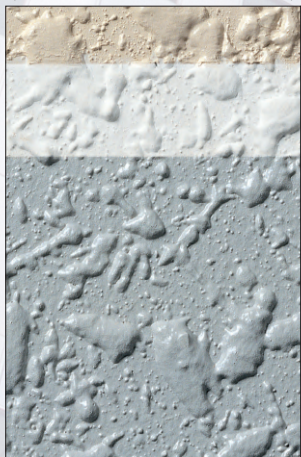
特長

- 下地調整(フィラー)機能とシーラー効果を兼備しており、ほとんどの旧塗膜に対し付着性が良好です。
- 上塗り塗料に対しては、水性、溶剤型ともに適用が可能です。
- 塗膜は微弾性のため、被塗物のヘアークラックによく追従します。
- 高固形分でやせが少ないので、目止め効果にすぐれています。
- 緻密で吸い込みの少ない塗膜を形成するため、各種上塗りはつやムラの少ない美しい仕上がりになります。

塗装工法例

旧塗膜のパターンを活かした工法

(ビニロックエラスティックファイラーⅢをシーラーとして塗布)



旧塗膜のパターンを変えた工法

(ビニロックエラスティックファイラーⅢでシーラー兼フィラーとしてパターン付け)



被塗物素材

- コンクリート、モルタル、ALCなど（磁器タイル、金属面、木部には適しません。）

適応旧塗膜

- 各種水性仕上げ材、吹き付けタイル、リシンなどの各種旧塗膜

適応上塗塗料

- 水性塗料：ハイパービルロックセラ(111L)、サンフロンアクア(081L)、ビニロックウレタン(108L)、ユニロックハイグロス(072L)、など
- 弱溶剤型塗料：1液ユメロックDX(024L)、ユメロック(114L)、ハイパーユメロック(114L)、サンフロンUV(081L) など

(JIS使用の場合の上塗材はハイパービルロックセラとなります。その他詳細な上塗り可能塗料については、最寄りの営業所にお問い合わせください。)

使用方法

- 塗装方法：ローラー、砂骨ローラー、エアレス
- 希釈剤：水
- 希釈率：ローラー 5～10%
エアレス 5～10%
砂骨ローラー 1～5%
- 塗装回数：1回
- 標準塗付量：0.3～0.5kg/m²・回(ローラー・エアレス)
0.8～1.5kg/m²・回(砂骨ローラー)
- 塗付面積：32～53m²/16kg・回(ローラー・エアレス)
11～20m²/16kg・回(砂骨ローラー)
- 塗り重ね可能時間：4時間以上(23℃)
(上塗り塗料が弱溶剤型の場合、8時間以上(23℃)となります。各数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。下地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。)

品番・容量

032-2106 ビニロックエラストティックファイラーⅢ 16kg

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離は「はがれ」の低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- エマルジョンパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 空木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポを下塗りとして使用してください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- ビニロックエラストティックファイラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにむらが生じないようにしてください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 水のかかる場所は塗装後24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温23℃、湿度65%の場合)
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想できる場合は、カチオン型合成樹脂エマルジョンシーラーが弱溶剤型のシーラーを使用してください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 旧塗膜は弾性型塗料でビニロックエラストティックファイラーⅢを使用して塗替えを行う場合、後の工程で吹付けタイル(硬質タイル)は使用しないでください。クラックが生じる場合がありますので弾性系の塗料を使用してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- JIS適合品の光沢はつや有り・限ります。
- 塗装用具はローラー、エアレス、砂骨ローラーの他にリシンガン、タイルガンも使用できます。
- リシン面の塗り替えの際、特に夏場でローラーの塗り継ぎが目立つことがあります。旧塗膜に吸い込みがあり、乾燥が早い場合には、ビニロックエラストティックファイラーⅢを10～15%希釈して、薄くローラー代わりに塗装した後、砂骨ローラーでパターン付けをしてください。
- ビニロックエラストティックファイラーⅢを所定量塗装しないで、上塗りに弱溶剤型塗料を塗装した場合、リフティング(塗膜にちぢみ)を起こす場合があります。弱溶剤型塗料を上塗りする場合はビニロックエラストティックファイラーⅢの膜厚を厚めにし、塗装間隔を8時間以上(23℃)とってください。
- このカタログに記載されている上塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上および取扱上の注意

- (製品の危険・有害性)
- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入るとは避けてください。
 - (救急処置)
 - 目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - (施工後の安全性について)
 - 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き渡しの際は、施工主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

- (取扱の注意事項)
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
 - 取扱い中はできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護手袋、保護メガネ、保護マスクを着用してください。
 - 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に、作業着等に付着した汚れをよく落としてください。
 - よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下で子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
 - 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

*安全データシート(SDS)をよく読んでからご使用ください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000

札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304

仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代2-3-11-201
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255

西関東営業部 〒229-1131 神奈川県相模原市西橋本1-15-16
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112

大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区娘島3-1-47
TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000

名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1-3
TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433

岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000-3-4
TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966

福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店